



[JP] Soundvision 2026.1 リードミー

Soundvision は L-Acoustics の音響およびメカニカルに関する 3D モデリングソフトウェアです。

Soundvision 2026.1 は <https://www.l-acoustics.com/> からダウンロードできます。

コンピューター要件

最小動作環境：

- オペレーティングシステム
- Windows 10 (64-bit)
- macOS High Sierra (OS X 10.13) から macOS Monterey (12) まで。
- メモリー : 1 GB 以上
- プロセッサー速度 : 1.2 GHz 以上
- ハードディスク空きスペース 100 MB 以上
- ビデオカード :
- Intel HD、Iris graphics。(Intel GMA と Intel Extreme Graphics はサポート対象外です。)



Intel HD Graphics 5500 グラフィックカード (プロセッサー: i3-5005U、i3-5015U、i3-5010U、i3-5020U、i5-5200U、i5-5300U、i7-5500U、i7-5600U)搭載のPCは、ドライバーバージョンを 10.18.15.4279 (インテルパッケージ・バージョン 15.40.7.4279 以降)以上にアップデートしてください。これに満たないバージョンのドライバーはマッピング結果を正常に表示できません。

- GeForce カードシリーズ 8 以上。



次のモデルは互換性がありません：GeForce 256、GeForce 2 シリーズ、3 シリーズ、GeForce 4 シリーズ、GeForce FX シリーズ、GeForce 6 シリーズ、GeForce 7 シリーズ。

- ATI Radeon HD 2000 シリーズ以上。
- サードパーティソフトウェア : Adobe® Reader®

Windows 10 および Windows 11 は Microsoft 社の登録商標です。

Mac および mac OS は米国および他の国で登録されている Apple 社の商標です。

Adobe および Reader は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Soundvision のインストール

手順

1. www.l-acoustics.comを開く
2. Products > Software > Soundvision を選ぶ
3. Get Soundvision をクリック
4. フォームを記入し Download Soundvision をクリック
5. - Windows 用 : ダウンロードした exe ファイルをダブルクリック
- Mac OS 用 : ダウンロードした dmg ファイルをダブルクリックし pkg ファイルをダブルクリック
6. インストールウィザードの手順にしたがう

新たな機能

本リリースにおける新たな機能と改善はつぎのとおりです。

Soundvision 2026.1

- Autofilter アルゴリズムを更新し、追加の HF リソースを使用せずに、観客エリア全体における LF コンターと SPL の一貫性を改善しました。
- 大気条件、ソースの位置または向き、カバレッジ目標、SPL ターゲットを変更した場合、または新しいバージョンの Autofilter アルゴリズムが利用可能な場合に、メインツールバーに **Refresh Autofilter** ボタンが表示されます。
- アレイ全体に同じ Panflex 角度をまとめて設定する機能を、これまでの個別メニューから **Loudspeaker Data** 内のテーブルヘッダー上部の **Panflex** メニューへ移動しました。
- ディレイマッピングのツールチップとプローブのツールチップで表示されるディレイ結果の整合性を改善しました。どちらの結果も、基準となるのはソース内のすべてのエレメントの中心（幾何学的な中心）です。

プリセットライブラリーとエンクロージャライブラリー7.16

- [K1SB_100_NC] プリセットを追加しました。

修正した問題

本リリースでの修正はつぎのとおりです。

- 3D room data** ウィンドウを開き直すと、既存オブジェクトの **Properties** タブと **3D Position** タブが表示されない。
- サブウーハーの向きを **Vertical** に変えた場合にマッピングが正しく更新されない。
- EASE へのエクスポート機能を用いた場合に、EASE におけるゲイン値が正しくならないことがある。

既知の問題

本リリースにおける既知の問題と制限はつぎのとおりです。

Autosolver と LA Network Manager の互換性：

- Soundvision プロジェクトを LA Network Manager にインポートした際に、4 チャンネルアンプリファイドコントローラーでサブウーハーの極性が正しく設定されません。
- マッピングモード時に **Autoplay > Optimize** を実行すると、Soundvision が予期せず停止することがあります。カバレージモードに切り替えてから **Optimize** をクリックしてマッピングモードに戻す回避策で対応してください。
- オートソルバーを備えたソースに **アライメント** ディレイと極性を適用してもオートソルバーの結果は自動的にリセットされません。オートソルバーの結果は手動でリセットしてください。(BA 追記：ディレイおよび極性を変更すると Frequency Response に表示される特性は変化しますが、それは「変更前の条件に対して作られたフィルターを使った算出結果に対してあとからディレイおよび極性変更を施したもの」です。ディレイや極性変更後にその状態に合わせてフィルターを作成したい場合は、手動で Refresh を実行しなければなりません。)
- Soundvision ファイルを LA Network Manager にインポートした場合、LA7.16(i)以外のアンプリファイドコントローラーでは極性が正しく設定されません。(BA 追記：LA7.16(i)以外のアンプリファイドコントローラーの場合、Soundvision 上で施した極性反転は LA Network Manager 上で手動設定しなければなりません。)
- Autosolver は非常に深いバレコニーのようなプロファイルに対して正常に動作しない場合があります。Autosolver の結果を手動で調整してください。

その他：

- L2/L2D の **Fix Bottom** 値は正しくありません。
- Show mean** 機能が周波数応答に対して紛らわしい結果を表示します。
- 一部の WST ソースでは、高い周波数でのマッピング結果に微細な視覚的アーチファクト（人工的な化合物）が現れることがあります。これらのアーチファクトは Autosolver の結果には影響しないため、無視しても問題ありません。
- Kara II Down エレメントに 110° とそれ以外の角度のパンフレックス設定が含まれる K2 ラインソースを作ると、**Zoning groups** に [KARADOWNK2 xx] プリセット名の代わりに [KARA II xx] プリセット名が表示されます。これは表示だけの問題であり、マッピング時と LA Network Manager へのインポート時には正しいプリセットが適用されます。

- マッピングモード時に **3D シーン**上でソースを移動しようとすると Soundvision が応答しなくなることがあります。カバレッジモードに切り替えてソースを移動しマッピングモードに戻す回避策で対応してください。
- KS21-OUTRIG または K2-JACK+KS21-CHARIOT を用いてスタックしている KS21 は YZ シンメトリーを設定できません。
- LA2Xi および LA4X アンプリファイドコントローラーに **SYVA+LOW** ソースをアサインする場合、チャンネル 1-2 だけにしかアサインできません。チャンネル 3-4 はアサインできません。
- WIFOTILT および A-TILT を使用したスタックアレイの角度をレポートで正しく表示できません。
- 3D scene**において、透明度を設けたサーフェス越しの見え方が正しくありません。
- Apple M1 以上では、**SPL Target** ツールボックスの更新が遅くなります。
- Intel プロセッサーを内蔵した Mac コンピューターでは、**3D シーン**のディレイモードでマッピングをオンにすると、グラフィックにバグが表示される場合があります。マッピングモードをオフにして再度オンにすると、この問題は解決します。

推奨事項

メカニカル警告

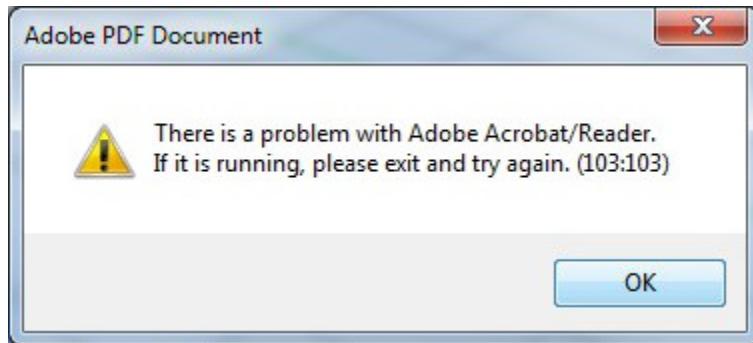
以下のスタック構成では、強く押されたり揺れたりした場合にアレイが転倒する可能性があるため、「tipping hazard : 転倒の危険」の安全警告が発せられます：

- 1 収の A10 Wide/Focus エンクロージャーをスタックしたアレイ
- HF right で 2 段スタックした ARCS Wide/Focus のアレイ
- サイトアングル 0°で Syva Base にスタックした Syva と Syva Low on Syva
- ホリゾンタルにスタックした SB10i

アレイの近くへ立ち入れないような措置が取られている場合は警告を無視しても問題ありません。そうでない場合は、アレイを地面に固定することをお勧めします。

Adobe® Reader® トラブルシューティング

Soundvision でレポートを生成する際に Adobe Reader の問題を示すつぎのメッセージが表示されるケースがあります。(エラー 103:103)



考えられる原因	トラブルシューティング手順
Adobe Reader のデフォルト設定が、更新後に初期化されなかった。	<ol style="list-style-type: none"> 1. Adobe Reader を起動する。(例：なんらかの PDF を開く。) 2. Soundvision からレポート作成を試みる。
Adobe Reader のバージョンが古い。	<ol style="list-style-type: none"> 1. Adobe Reader を最新版に更新する。(get.adobe.com/reader から) 2. Adobe Reader を起動する。(例：なんらかの PDF を開く。) 3. Soundvision からレポート作成を試みる。
Adobe Reader のセキュリティ設定が Soundvision に干渉している。	<ol style="list-style-type: none"> 1. Adobe Reader を起動する。(例：なんらかの PDF を開く。) 2. 編集メニューから環境設定を選ぶ。 3. 分類リストからセキュリティ（拡張）を選ぶ。 4. 起動時に保護モードを有効にするのチェックを外し、承認する。 5. OK をクリックし、環境設定ウィンドウを閉じる。 6. Adobe Reader を閉じる。 7. Adobe Reader を起動する。(例：なんらかの PDF を開く。) 8. Soundvision からレポート作成を試みる。